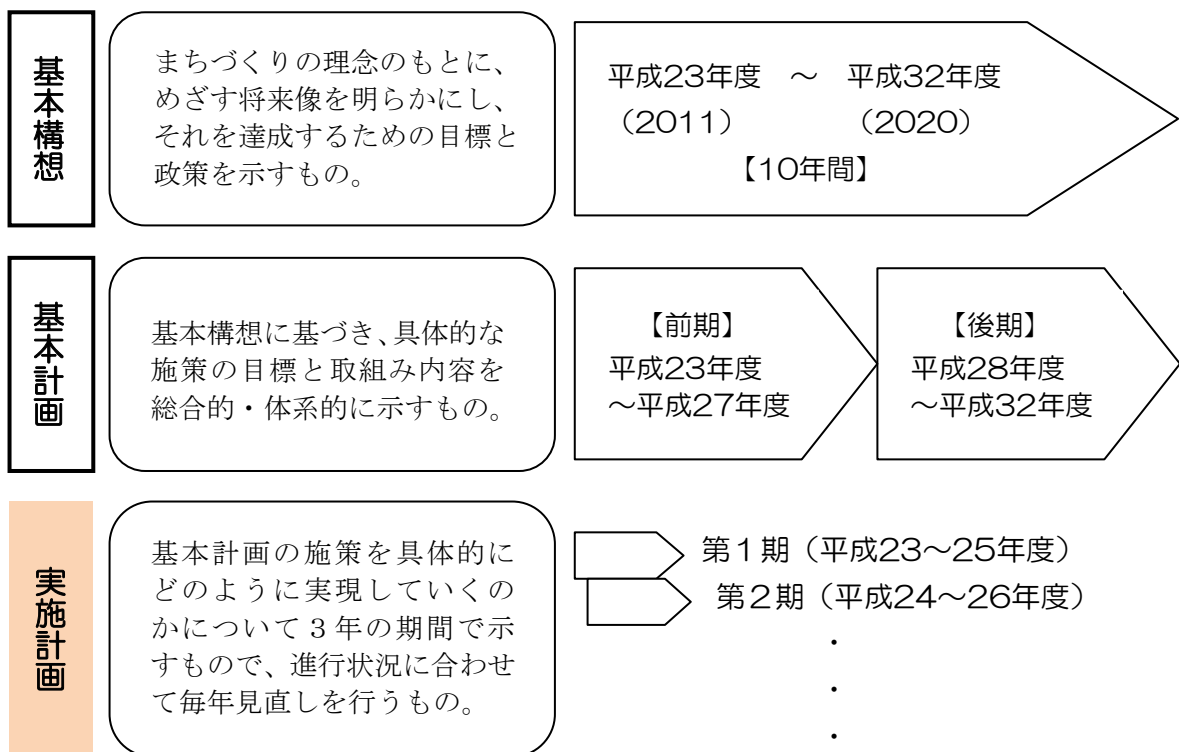


第4次摂津市総合計画実施計画の概要

1. 実施計画の考え方

◆総合計画は、「基本構想」「基本計画」「実施計画」で構成しています。



◆第4次総合計画では、基本計画の施策ごとに目標として「平成32年度に実現している姿」と「指標」を掲げ、それを実現する計画として「施策の展開」を示していますが、具体的な手段（事業）までは示していません。

◆手段については、計画期間の10年間において社会情勢の変化や事業の有効性を適宜判断し、適切なものを迅速に変更・実施することになります。

◆実施計画は、基本構想・基本計画をどのように予算として反映していくかという骨格を示すものであり、予算編成の指針となるものです。したがって、実施計画が示す内容を受け、財源を有効的・効率的に振り分けていくのが予算編成です。

2. 実施計画のねらい

◆実施計画のねらいは次のとおりです。

- ①「平成32年度に実現している姿」の実現への道筋を明確にするとともに、その進行状況を管理できる工程表とすること。
- ②「平成32年度に実現している姿」及び「施策の展開」と、実施する事業との関係を明確にすること。
- ③事業の実施責任者を明確にすること。

3. 実施計画の構成

(1) 実現ステップ

- ◆実現ステップは、総合計画基本計画の各施策に示す「平成32年度に実現している姿」を着実に実現するための道筋を明確にするものです。
- ◆具体的には、「平成32年度に実現している姿」を実現するために、まず、総合計画の前期終了年度である平成27年度に実現している姿を明確にし、それに向けて、平成23年度から1年ごとの実現状況を計画する部分です。
- ◆次に説明する【施策の展開の計画】は、これらの年度ごとの目標に基づいて作成することになります。

(2) 施策の展開の計画

- ◆施策の展開の計画は、総合計画基本計画の各施策に示す「施策の展開」について、具体的な事業の計画を作成するものです。ここが実施計画の根幹部分になります。
- ◆具体的には、実現ステップの年度ごとの目標に基づいて、「施策の展開」の実現に必要な取組みを年度ごとに計画します。さらに、その手段である次年度の事業及び事業費を示します。
- ◆第4次総合計画では、「摂津市の特色や魅力のある取組みとして進めていくこと」も定めています。これについても実現に向けた計画を作成します。

4. 実施計画の評価

- ◆「実現ステップ」、「施策の展開の計画」、「摂津市の特色や魅力のある取組みとして進めていくこと」のそれぞれにおいて、毎年、前年度の実績（成果）を振り返って見直しを行い、次年度の実施計画を作成します。